

# 2025年度事業計画

北海道エアポート株式会社

# 取組方針及び目標値

## ■ 取組方針

第二期中期事業計画（2025年度～2029年度）の初年度となる2025年度については、当該計画で定める旅客数目標・財務目標・重点テーマ等及びHAP2030ビジョンで掲げる姿の達成に向け、下記取組方針の通り、安全安心に係る取組の更なる強化を図るとともに、旅客需要の応需に向けた体制整備や成長投資等を実施し、骨太な経営基盤の確立を目指します。

- **安全安心を最優先とする空港運営**に向けた組織運営・人材育成を進めるとともに、持続的かつ効率的な7空港一体運営を実現すべく**GX・DX等への取り組みを推進し、北方圏における空港運営のリーディングカンパニー**を目指します。
- **航空ネットワークの更なる拡大に向けた応需体制の強化（グランドハンドリング・航空燃料等）**を図るとともに、観光の高付加価値化や二次交通への対応についても関係者と連携し取り組み、**地域経済の活性化**に寄与します。
- **将来の航空需要を見据えた受入能力向上等の成長投資**や**安全安心に係る更新投資**を着実に実施し、**利用者利便の更なる向上**を目指します。

## （参考）中期事業計画における重点テーマ

- ① 安全安心・空港満足度向上
- ② 旅客数目標達成・応需体制強化
- ③ 収益力向上・コスト構造改善
- ④ 観光の高付加価値化・新たな来道需要創出
- ⑤ GX・DXに関する取組（サステナビリティ・SDGs）
- ⑥ HAP2030ビジョンを契機としたエンゲージメント向上
- ⑦ 産業集積等を契機とした空港機能強化

## ■ 旅客数等の目標値

- 2025年度の旅客数目標は、7空港合計で国内線2,636万人（2019年暦年比101%）、国際線442万人（同108%）、合計3,077万人（同102%）を目指します。

		新千歳	稚内	釧路	函館	旭川	帯広	女満別	7空港計
旅客数 (万人)	国内線	2,100	19	78	171	115	69	83	2,636万人 (101%)
	国際線	407	0.3	0.9	22.3	9.5	1.0	0.4	442万人 (108%)
	合計	2,508	19	79	193	125	70	84	3,077万人 (102%)
貨物量 (千t)		195.2	0.1	1.6	4.5	4.8	0.5	1.0	207.7千t

## ■ 損益計画

- 営業収益は602億円、EBITDAは232億円、営業損益は22億円となる見込み。

	2025年度
営業収益 <sup>※1</sup>	602億円
売上原価+営業費用	579億円
営業損益	22億円
EBITDA <sup>※2</sup>	232億円

※1 新収益認識基準による数値（旧基準：1,181億円）

※2 営業損益に減価償却費を足し戻した経営指標

# 目標達成に向けた主な取組①

## ■ 安全安心を最優先とする空港運営、持続的な空港経営のための事業運営体制の構築

### ● 安全安心の空港運営に向けた取組

- ・ 重大インシデント事案への対応等を踏まえた安全安心の空港運営体制の強化に向けた取組の実施
- ・ 人材育成、HOC支援体制の強化、HAP2030ビジョンを踏まえたエンゲージメント向上施策の実施
- ・ 安全安心に係る機能維持投資等の着実な実施等、空港満足度向上に向けた各種取組の実施

### ● 持続的かつ効率的な事業運営に向けた取組

- ・ バンドリングメリットを活かしたコスト抑制に加え、各種投資に係る原価の回収による収支改善施策の検討
- ・ 人材不足等の課題を踏まえた省人化・業務効率化に向けたDX施策の検討・実施
- ・ 空港脱炭素化推進計画の目標達成に向けた各種GX施策や空港におけるSDGs取組の推進

## ■ 航空ネットワークの拡大・広域観光振興等を通じた地域経済の活性化

### ● 航空ネットワーク拡大・広域観光振興に向けた取組

- ・ 7空港一体での航空営業、着陸料等の割引制度・インセンティブを活用したマーケティング戦略の推進
  - ✓ ターゲット路線の新規就航・利用促進につながるプロモーション等、地域との連携したアウトバウンド・インバウンド旅客需要喚起施策の実施
  - ✓ 新千歳の更なる航空ネットワークの拡大（中国や東南アジア等）、函館および旭川における国際線定期便等の就航、その他空港への定期便就航を見据えたチャーター便誘致に向けた営業の実施
- ・ 空港別の課題に応じた応需能力向上（グランドハンドリング・航空燃料等）施策を関係者と協業して実施
  - ✓ 応需体制構築のための空港受入環境の整備（GSE車両の共用化等）
  - ✓ 各空港の応需体制構築と連動したエアライン営業（チャーター便の誘致含む）の実施
- ・ 道内航空ネットワーク（丘珠空港との連携含む）の拡大等を通じた道内周遊の促進、二次交通の最適化へ向けた取組（観光MaaS等）の推進

### ● 観光の高付加価値化や地域との連携・共生に係る取組

- ・ アドベンチャートラベルや観光の高付加価値化等、観光需要の創出に向けた観光資源の洗い出し・磨き上げを地域と連携して推進
- ・ 新千歳ビジネスジェット専用ターミナルのサービス拡充（二次交通高度化等）を通じ、ビジネスジェットを活用した高付加価値旅客の来道需要の喚起
- ・ 半導体産業進出に伴う空港機能強化への取組等、多様な企業・自治体との連携を通じた地域への貢献



▲釧路空港/AIを活用した観光案内実証実験



▲ Fry to Fly Project  
(廃食用油を活用した持続可能な航空燃料生成)



▲ヘリコプター実証実験

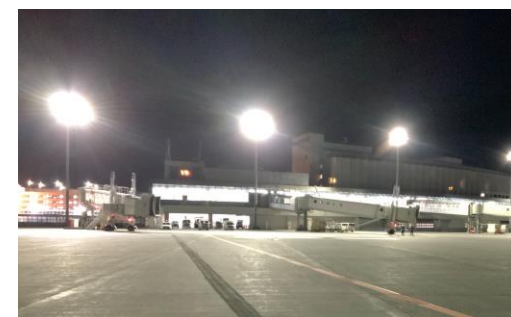
## 目標達成に向けた主な取組②

### ■ 航空需要に応じた空港処理能力向上や安全性向上に向けた各種投資の推進

- ・ 安全安心の空港運営に向けた計画的で着実な更新投資の実施
  - ・ 航空需要を踏まえた処理能力向上や利便性向上に向けた拡張投資の検討・実施
  - ・ 収益基盤の確立に向けた投資対効果を踏まえた各種新規投資の検討・実施
- **7 空港共通**
    - ・ 安全・安心な空港運営に資する滑走路、誘導路、航空灯火等の更新に係る設計及び工事
    - ・ 旅客ターミナルビル設備関連改修等に関する設計及び工事
    - ・ 脱炭素化推進計画に基づく各空港のカーボンニュートラル化に向けた各種施策の検討・実施
  - **新千歳空港**
    - ・ 国内線施設等改修に係る設計の継続及び工事（保安検査場改修、商業・ラウンジ改修等含む）
    - ・ 国際線施設改修に係る設計の継続及び工事
    - ・ 駐車場拡張に係る設計の継続及び工事
  - **稚内空港**
    - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続
    - ・ 老朽化設備改修工事
  - **釧路空港**
    - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事（商業改修工事含む）
  - **函館空港**
    - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事（商業改修工事含む）
    - ・ 国際線施設改修に係る工事
  - **旭川空港**
    - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事（商業改修工事含む）
    - ・ 駐車場拡張に係る工事
  - **帯広空港**
    - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続
    - ・ 駐車場拡張に係る工事（立体駐車場新設含む）
  - **女満別空港**
    - ・ 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事
    - ・ 駐車場拡張に係る工事



▲ 函館空港／商業施設リニューアル  
※現時点におけるイメージであり今後変更可能性があります。



▲ 新千歳空港／エプロン照明灯改良工事



▲ 保安検査場スマートレーン／他空港での導入事例

# 2025年度設備投資計画

## ■ 2025年度 設備投資計画

		活性化投資	機能維持投資	合計	主な投資内容
<b>投資額合計</b>		<b>53.8億</b>	<b>175.9億</b>	<b>229.7億</b>	
本社	ランドサイド	0.0億	1.7億	1.7億	<b>■ 活性化投資</b> 新千歳空港 : 国内線施設等改修に係る設計の継続及び工事 (保安検査場改修、商業・ラウンジ改修等含む) 国際線施設改修に係る設計の継続及び工事 駐車場拡張に係る設計の継続及び工事 稚内空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続 老朽化設備改修工事 釧路空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事 (商業改修工事含む) 函館空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事 (商業改修工事含む) 国際線施設改修に係る工事 旭川空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事(商業改修工事含む) 駐車場拡張に係る工事 帯広空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続 駐車場拡張に係る工事 (立体駐車場新設含む) 女満別空港 : 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事 駐車場拡張に係る工事  <b>■ 機能維持投資</b> エアサイド : 空港基本施設に係る更新投資、除雪・消防車両更新等 ランドサイド : 旅客ターミナルビル設備等に関する修繕投資、PBB更新等 本社 : サイバーセキュリティ対策、オペレーションシステム統合・更新、 データベース統合・更新等
	エアサイド	0.0億	5.7億	5.7億	
新千歳 (含むCFF)	ランドサイド	27.2億	74.7億	101.9億	
	エアサイド	5.2億	53.2億	58.4億	
稚内	ランドサイド	1.4億	0.2億	1.6億	
	エアサイド	0.0億	3.1億	3.1億	
釧路	ランドサイド	6.1億	1.4億	7.5億	
	エアサイド	0.0億	3.7億	3.7億	
函館	ランドサイド	8.1億	5.0億	13.1億	
	エアサイド	0.0億	5.6億	5.6億	
旭川	ランドサイド	2.3億	6.8億	9.1億	
	エアサイド	1.0億	6.1億	7.1億	
帯広	ランドサイド	0.7億	1.6億	2.3億	
	エアサイド	0.3億	2.7億	3.0億	
女満別	ランドサイド	0.8億	0.9億	1.7億	
	エアサイド	0.7億	3.5億	4.1億	

# (参考) HAP2030ビジョン

私たち北海道エアポートは、空港運営を通じて北海道の未来を創造し、地域に貢献する企業を目指して、2030年を目標とした「HAP2030ビジョン」を2023年11月に策定しました。

スローガン ▶ ともに創る、北の空と大地の未来

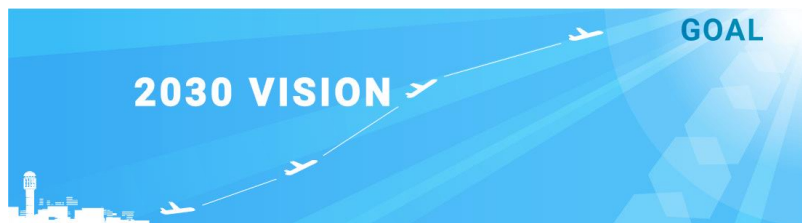


## HAP2030ビジョン

7つの視点から、北方圏の空港運営のリーディングカンパニーを目指します

## 我々が目指すゴール

北海道を元気にし、未来に貢献する会社を実現します



「北海道を元気にし、未来に貢献する会社を実現します」という言葉には、空港運営を通じて北海道の未来を創造し、地域に貢献する企業を目指すべく、「HAP2030ビジョン」策定に向けて繰り返し議論を重ねてきた私たちの想いが込められています。

私たち北海道エアポートは、7空港における社員の挑戦と活躍、コミュニケーションの活性化を促し、北方圏の空港運営のリーディングカンパニーとなることで、北海道を元気にし、未来に貢献する会社となることを目指します。

